



報道関係者各位
プレスリリース

2009年09月30日
ABB株式会社

ABB、初のソーラー用インバータを発売

ABBは、ソーラー市場向けにインバータを開発し、世界で最も影響力のある太陽電池関連の国際会議(於ハンブルグ)において先週発表しました。

2009年欧州太陽電池太陽エネルギー会議と展示会(European Photovoltaic Solar Energy Conference and Exhibition: EU PVSEC)が、9月21日から9月25日の会期で開催されました。

ABBは、インバータ※技術分野で何十年もの歴史を持ち、長い間、ソーラーインバータ製造業者向けに部品を供給してきました。ソーラーインバータは、太陽光により太陽電池プレートで発電された直流電流を、電力網に取り込めるように交流に変換する製品です。

ABBのソーラーインバータは、100キロワットから500キロワットまでのラインアップがあり、コスト効率が高く、マルチメガワット級の太陽光発電所にも最適です。

「このインバータの発売により、ABBは太陽電池市場での地位を確固たるものとします。強力かつ長年にわたるソーラー産業のパートナーから、大変良いフィードバックもいただき、より自信を深めているところです。」と、ディーク・レインウェーバーは述べています。

レインウェーバーは、ABBドイツ、オートメーションプロダクトディビジョンの太陽電池向け製品セールスおよびマーケティングの責任者で、この新しいインバータの市場への投入により、ABBが太陽電池市場においてさらにシェアを高めることに確信を持っています。

太陽電池ソーラーシステムが最大のアップタイムを達成できるよう、最大の信頼性を備えた設計のABB PVS800ソーラーインバータは、モジュラー式の大変コンパクトな形状で、ABBのグローバルサービスネットワークに完全に統合されています。信頼性、コスト削減効果、グローバルサービスの全ての要素を兼ね備えている点が、ソーラー業界においては珍しい点であると、レインウェーバーは指摘しています。

「ABBのたどっている道筋は、ずいぶん前に描かれたものです。コンバータ技術において、当社はゆるぎない経験を有しており、主要製造業者として、長年にわたりサプライヤの皆さんの認知を得て参りました。我々はいまこの技術を携えて、ソーラー業界に自ら進出するのです。」

ABB株式会社としても、当製品を、海外展開をお考えの日本のお客さまにご活用いただけるものと確信しています。

※インバータ: 直流を交流に変換する電気製品。

■ABBについて (<http://www.abb.com/>)

ABBは、世界のおよそ100カ国に120,000人の従業員を擁する電力技術とオートメーション技術のリーディングカンパニーです。環境負荷を最低限に抑えながらお客さまの業務効率を最適化するソリューションの数々を、産業界と公益事業の皆さまに提供しています。



■ABB 株式会社について (<http://www.abb.co.jp/>)

ABB の日本法人である ABB 株式会社は、国内において電力およびオートメーション事業を、製造、販売、サービス分野にわたって展開しています。

また、ABB の日本国内における活動は、ABB 株式会社と 3 つの合弁事業から構成されており、ABB ジャパングループとして約 750 名の従業員、12 都市にわたる販売／サービスネットワークを擁しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

ABB 株式会社

所在地：〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町 26-1 セルリアンタワー

担当：広報部 フランクリン・ワン(Franklin Wang)

E-MAIL: jpabb.communications@jp.abb.com

TEL : 03-5784-6254

FAX : 03-5784-6281